

人口・社会統計に関する統計整備の重点的課題について（未定稿）

【人口・人口動態】

- 住民基本台帳データ等の行政記録の活用の検討
- 国勢調査の在り方（22年調査以降の見直し・改善、今後のあり方など）
- 少子化対策に対応した分析が可能となる統計の整備
（年齢各歳別などコーホート分析に資する詳細データの提供など）
- 日本居住外国人に係るデータの拡充（関連業務記録の整備など）
- 統計間の整合性向上（国勢調査と人口動態統計、推計人口・住民基本台帳に基づく人口・労働力人口、住民基本台帳に基づく人口の把握時期の見直しなど）

【家族・暮らし・居住・余暇・レジャー】

- 少子化、ワークライフバランスの関連の統計の改善
 - ・ 少子化、ワークライフバランスの関連で、世帯外の親からのサポート等が得られるかといった状況を把握できる統計の整備
 - ・ 女性の労働（就業、離職、就業抑制要因等）と結婚・出産・子育ての関係をより詳しく分析するための統計の整備
 - ・ 配偶関係、結婚時期、子供数等の少子化に直結するデータの大規模標本調査による把握
- 生活行動の多様化等のよりの確な把握・分析
 - ・ 生活行動に関する分類の見直し（アフターコード結果を踏まえた見直しなど）
 - ・ 日常におけるゴミの整理、地域の町内会活動、通学路の安全確保等の地域コミュニティ活動が、どのような人たちによって、どのように支えられているかについての把握
- 家計調査と家計消費状況調査の結果の統合化（指数作成など）
- 家計調査及び全国消費実態調査における調査方法の見直し（モニター制の導入など）
- 住宅・土地統計調査と国勢調査の関係や在り方を見直し
- 住宅に関する統計の体系性の向上
 - ・ 住宅・土地統計調査への住生活総合調査の統合
 - ・ ハード面だけでなく、価格、購入者が誰か、経済状況等の経済、家族面の把握

【福祉・社会保障】

- 福祉・社会保障全般を総合的に示す統計の整備
- 格差問題への対処等の観点から、フロー・ストック（所得・資産面）に係る再分配の状況を示す指標（特に、地域別（ブロックまたは都道府県別）のデータ）の整備・拡充
- 国民生活基礎調査の改善
 - ・ 5種類の調査票間の接続・連携を強化することによるクロス分析等の充実
 - ・ 標本の抽出方法の変更（抽出した地区内の全ての世帯を対象とする現行方式から、より多くの地区を選び当該地区内の幾つかの世帯をランダムに抽出する方式への変更）
- セーフティネットから漏れている者の把握